

## 不当弾圧から1年!

加藤誠二さんの不当解雇撤回、

職場復帰に向け職場から闘おう!

昨年7月13日、突如強行された大弾圧からまもなく一年が経過しようとしています。この弾圧は、この間の闘いで明らかとなったように、労働組合破壊を狙った政治弾圧です。会社と警察権力が、それぞれの思惑を貫徹するために、巧妙に仕組んだデッチ上げ「窃盗事件」であることは、不当解雇撤回の裁判闘争の中でも明らかになりつつあります。

会社は、「窃取したと確信している」と主張するだけで、具体的な証拠を提示できません。目的はハッキリしています。加藤誠二さんを「犯人」に仕立て上げ、JR東海労を不法者・反社会集団として描き出すことです。そして闘う労働組合活動からの離反を生み出し、会社の思惑をスムーズに貫徹することです。

職場では、「リニア新幹線構想」実現に向け、その財源生み出しのために労働条件が切り縮められようとしています。休日出勤常態化、サービス労働当たり前、さらに進む効率化など、労働者へのしわ寄せはさらに強化されます。

反弹圧・反処分の闘いは、職場の諸課題と立ち向かい、職場から労働組合活動をしっかり取り

組むことです。この一年の闘いをさらに前進させ、不当解雇撤回・職場復帰に向け奮闘しましょう!

